

令和7年度年間指導計画 【様式1】

教科		科目名・単位数		対象学年・組			
国語		言語文化 (2 単位)		2 A、2B			
教科担当者：		(A組： 近) (B組： 近) (C組：)					
使用教科書：		高等学校 新編言語文化 (第一学習社)		使用教材等： 課題プリント等			
学習目標：		言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを旨とする。					
観点別の評価基準							
【知識・技能】		【思考・判断・表現】		【主体的に学習に取り組む態度】			
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。		論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。		授業中の参加する姿勢や態度、発言や発問に対する回答、ノート・課題・プリント等への取り組みと提出状況を総合的に評価する。			
学期	月	指導内容・単元	具体的な指導内容・評価方法	知	思	態	予定 時数
1 学 期	4月	(春季休業中)					6
		(始業式・入学式・教科書・健診・対面式)	下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉えさせ、老婆の語る論理が、下人の決断に与えた影響を読み取らせる。				
		ガイダンス					
		「羅生門」芥川龍之介		○		○	
		「羅生門」芥川龍之介			○	○	
	5月	オンライン学習デー(行事)、大型連休	(中間考査 5/14-19)				8
		「羅生門」芥川龍之介	下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉えさせ、老婆の語る論理が、下人の決断に与えた影響を読み取らせる。		○	○	
		中間考査		○	○		
		「羅生門」芥川龍之介			○	○	
		「羅生門」芥川龍之介			○	○	
	6月	「I was born」吉野 弘	作品に表れているものの見方や考え方を捉えさせ、内容を解釈する方法を学ばせる。	○		○	8
		「I was born」吉野 弘			○	○	
		「I was born」吉野 弘			○	○	
		「六月」茨木のり子		○		○	
		「六月」茨木のり子				○	
	7月	期末考査	(期末考査 7/1-7)	○	○		6
		答案返却					
		(セーフティ教室、学年集会、終業式)					
		(夏季休業中)					
		(夏季休業中)					
	8月						
2 学 期	9月	古文の学習	わが国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を知る。	○		○	8
		古文の学習		○		○	
		古文の学習		○		○	
		「鳩と蟻のこと」		○		○	
		「鳩と蟻のこと」			○	○	
	10月	「鳩と蟻のこと」	話の展開と内容を押さえながら、古文特有の仮名遣いと言葉に慣れさせる。		○	○	8
		「鳩と蟻のこと」			○	○	
		中間考査		○	○		
		「伊勢物語」		○		○	
		(セーフティ教室・農高祭準備)					
	11月	(農高祭)	(農高祭・振休・ボランティアの日 11/1-11/6)				8
		「伊勢物語」		○	○	○	
		「伊勢物語」		○	○	○	
		「伊勢物語」		○	○	○	
		「伊勢物語」		○	○	○	
	12月	「伊勢物語」	作品に表れているものの見方や考え方を捉えさせ、内容を解釈する方法を学ばせる。	○	○	○	6
		期末考査		○	○		
		答案返却、行事					
		H R 指導、学校行事、終業式					
		(冬季休業中)					
	3 学 期	1月	(冬季休業中)	漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方を習得する。	○		○
漢文の学習			○			○	
訓読に親しむ一			○			○	
訓読に親しむ二			○			○	
2月		訓読に親しむ三	○		○	8	
		「矛盾」	○	○	○		
		「矛盾」	○	○	○		
		「春暁」	○	○	○		
		「春望」	○	○	○		
3月			(学年末考査 3/2-6)				4
		学年末考査		○	○		
		答案返却、卒業式予行・卒業式					
		H R 指導、学年集会、行事					
		(行事・特別指導)、修了式、(春季休業中)					
履修上の注意						予定時数計	78
特記事項等							

令和6年度年間指導計画 【様式1】

教科		科目名・単位数		対象学年・組					
地理歴史		地理総合 (2 単位)		2A・2B					
教科担当者:		(A組:吉田) (B組:吉田) (C組:)							
使用教科書:		わたしたちの地理総合 世界から日本へ		使用教材等:		標準高等地図			
学習目標		社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次の通り育成することを目指す。							
観点別の評価基準									
【知識・技能】		【思考・判断・表現】		【主体的に学習に取り組む態度】					
地理にかかわる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球課題への取り組みなどを理解するとともに、地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。		地理にかかわる事象について多面的・多角的に考察したり、考察したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。		地理にかかわる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及、解決しようとする態度を養う。					
学期	月	指導内容・単元		具体的な指導内容・評価方法		知	思	態	予定 時数
1 学 期	4月	(春季休業中)		Questionへの回答内容・授業中の の取り組み					6
		(始業式・入学式・教科書・健診・対面式)							
		オリエンテーション、球面上での生活①				○	○	○	
		球面上での生活②				○	○	○	
	5月	世界地図でとらえる地球			○	○	○	8	
		オンライン学習デー(行事)、大型連休							
		国家の領域と海洋の役割		(中間考査 5/14-19)	○	○			
		中間考査		Questionへの回答内容・授業中の の取り組み	○	○	○		
	6月	日本の位置と領土問題			○	○	○	8	
		国家を超えた結びつき			○	○	○		
		観光による結びつき		Questionへの回答内容・授業中の の取り組み	○	○	○		
		交通・通信による結びつき			○	○	○		
	7月	貿易・物流による結びつき			○	○	○	6	
		身の回りにある様々な地図			○	○	○		
		山地と平野の生活、海岸部の生活			○	○	○		
		期末考査			○	○			
8月	答案返却		Questionへの回答内容・授業中の の取り組み				6		
	(セーフティ教室、学年集会、終業式)								
	(夏季休業中)		(期末考査 7/1-7)						
	(夏期休業中)								
9月									
2 学 期	9月	暑い気候に対応した生活		Questionへの回答内容・授業中の の取り組み		○	○	○	8
		乾燥した気候に対応した生活				○	○	○	
		季節の違いに対応した生活				○	○	○	
		寒冷な気候に対応した生活				○	○	○	
	10月	農業の地域性			○	○	○	8	
		工業の地域性		(中間考査 10/14-17)	○	○	○		
		経済成長による生活の変化①		Questionへの回答内容・授業中の の取り組み	○	○	○		
		中間考査			○	○	○		
	11月	経済成長による生活の変化②			○	○	○	8	
		(セーフティ教室・農高祭準備)							
		(農高祭)							
		工業による生活の変化①		(農高祭・振休・ボランティア の日 11/1-11/6)	○	○	○		
	12月	工業による生活の変化②		Questionへの回答内容・授業中の の取り組み	○	○	○	6	
		世界の言語			○	○	○		
		世界の宗教			○	○	○		
		仏教圏の生活文化			○	○	○		
3 学 期	1月	期末考査		(期末考査 12/8-12)	○	○		6	
		答案返却、行事		Questionへの回答内容・授業中の の取り組み					
		H R指導、学校行事、終業式							
		(冬季休業中)							
	2月	(冬季休業中)						8	
		キリスト教圏の生活文化		Questionへの回答内容・授業中の の取り組み	○	○	○		
		イスラム圏の生活文化①			○	○	○		
		イスラム圏の生活文化②			○	○	○		
	3月	世界の多民族・多文化社会			○	○	○	8	
		さまざまな社会の形成と生活文化		(自宅学習・入選・採点2/20- 25)	○	○	○		
		多文化社会の実現と生活文化		Questionへの回答内容・授業中の の取り組み	○	○	○		
		地域統合による生活文化の変化			○	○	○		
	4月	グローバル化による成長と課題						4	
		学年末考査			○	○			
		答案返却、卒業式予行・卒業式		(学年末考査 3/2-6)					
		H R指導、学年集会、行事		Questionへの回答内容・授業中の の取り組み					
5月	(行事・特別指導)、修了式、						4		
	(春季休業中)								
履修上の注意								予定時数計	78
特記事項等									

令和6年度年間指導計画【様式1】

教科	科目名・単位数			対象学年・組							
数学	数学Ⅰ	(2 単位)	2 - A B								
教科担当者:	(A組: 白井, 土屋) (B組: 白井, 土屋) (C組:)										
使用教科書:	高校数学Ⅰ (実教出版)			使用教材等:	ステップノート 数学Ⅰ						
学習目標: 基礎的・基本的な計算力を身につけ、自ら積極的に課題解決をしようとする態度を養う。											
観点別の評価基準											
【知識・技能】		【思考・判断・表現】		【主体的に学習に取り組む態度】							
数学Ⅰにおける基本的な概念や原理・法則を体系的に理解しているとともに、事象を数値化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。		命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力。図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力。関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表す。式、グラフを相互に関連付けて考察する力。社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身につけることができる。		数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。また、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。							
学期	月	指導内容・単元		具体的な指導内容・評価方法		知	思	態	予定 時数		
1 学 期	4月	(春季休業中)							6		
		(始業式・入学式・教科書・健診・対面式)				○	○	○			
		関数				○	○	○			
		関数の値				○	○	○			
	5月	1次関数のグラフ		(中間調査 5/14-19)		○	○	○	8		
		オンライン学習デー(行事)、大型連休				○	○	○			
		2次関数のグラフ (1)				○	○	○			
		中間調査				○	○	○			
	6月	2次関数のグラフ (2)				○	○	○	8		
		2次関数のグラフ (3)				○	○	○			
		2次関数のグラフ (4)				○	○	○			
		2次関数のグラフ (5)				○	○	○			
	7月	2次関数のグラフ (6)		(期末調査 7/1-7)		○	○	○	6		
		2次関数の最大値				○	○	○			
		2次関数の最小値				○	○	○			
		期末調査				○	○	○			
	8月	答案返却				○	○	○			
		(セーフティ教室・学年集会・終業式)				○	○	○			
		(夏季休業中)									
		(夏期休業中)									
2 学 期	9月	2次関数の利用				○	○	○	8		
		2次方程式(1)				○	○	○			
		2次方程式(2)				○	○	○			
		2次方程式(3)				○	○	○			
	10月	2次関数のグラフと2次不等式		(中間調査 10/14-17)		○	○	○	8		
		いろいろな2次不等式				○	○	○			
		2次関数のグラフと2次方程式・2次不等式の関係				○	○	○			
		中間調査				○	○	○			
	11月	相似な三角形		(農高祭・振休・ボランティアの日 11/1-11/6)		○	○	○	8		
		(セーフティ教室・農高祭準備)				○	○	○			
		(農高祭)				○	○	○			
		三平方の定理				○	○	○			
	12月	三角比(1)		(期末調査 12/8-12)		○	○	○	6		
		三角比の値				○	○	○			
		三角比の表				○	○	○			
		三角比の利用(1)				○	○	○			
3 学 期	1月	期末調査				○	○	○	8		
		答案返却、行事				○	○	○			
		HR指導・学校行事・終業式				○	○	○			
		(冬季休業中)									
	2月	(春季休業中)		(自宅学習・入選・採点2/20-25)		○	○	○	8		
		三角比の相互関係(1)				○	○	○			
		三角比の相互関係(2)				○	○	○			
		三角比の拡張				○	○	○			
	3月	さまざまなグラフ						○	○	○	4
		度数分布表とヒストグラム						○	○	○	
		代表値						○	○	○	
		データの散らばり						○	○	○	
	4月	相関関係		(学年末調査 3/2-6)		○	○	○	4		
		学年末調査				○	○	○			
		答案返却・卒業式予行・卒業式				○	○	○			
		HR指導・学年集会・行事				○	○	○			
(行事・特別指導)・修了式、											
(春季休業中)											
履修上の注意							予定時数計		78		
特記事項等											

教科		科目名・単位数		対象学年・組			
理科	化学基礎 (2 単位)		2 A、2 B				
教科担当： (A組：永井) (B組：永井) (C組：)							
使用教科書：		7実教・化基705 高校化学基礎		使用教材等： 教科書、プリント、演示用教材、標準等			
学習目標： 自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な自然観を育成する。							
観点別の評価基準							
【知識・技能】		【思考・判断・表現】		【主体的に学習に取り組む態度】			
基礎的な元素記号や化学式についての知識、化学反応式について重点的に指導する。直交や化学式の意味・使い分けを正確に理解し利用することができるところを目標とする。		化学反応の過程やグラフの読み取り、活用を重視し、計算のある問い等では正しく式を立ててられる力を養うことができるかを評価する。		授業中の参加する姿勢や態度、発言や発問に対する回答、ノート・課題・プリント等への取り組みと提出状況、授業へ参加する姿勢と主体性を持った取り組み等を総合的に評価する。			
学期	月	指導内容・単元	具体的な指導内容・評価方法	知	思	態	予定 時数
1 学 期	4月	(春季休業中)					6
		(始業式・入学式・教科書・健診・対面式)					
		第1節 物質の探究 1. 純物質と混合物	・物質の分類・精製や元素の確認などの実験を通して、単体、化合物及び混合物について理解するとともに、実験における基本操作と物質を探究する方法を身に付ける。	○		○	
		2. 混合物の分離 3. 単体と元素	・粒子の熱運動と温度及び物質の三態変化との関係について理解する。	○	○	○	
	5月	オンライン学習デー(行事)、大型連休	・原子の構造及び陽子、中性子、電子の性質を理解する。		○		8
		4. 状態変化と熱運動		○	○		
		中間考査	・元素の周期律及び原子の電子配置と周期表の族や周期との関係について理解する。	○	○	○	
		答案返却、解説 2. 電子配置とイオン		○	○	○	
	6月	2. 電子配置とイオン (続き)		○	○		8
		3. 周期律と周期表、族			○	○	
		第1節 イオン結合 1. イオン結合	・イオンの生成を電子配置と関連づけて理解する。	○	○		
		イオン結合とイオン反応式	・イオン結合及びイオン結合でできた物質の性質を理解する。	○		○	
7月	イオン結晶、未考査のまとめ			○	○	6	
	期末考査	(期末考査 7/1-7)	○	○	○		
	答案返却			○	○		
	(セーフティ教室、学年集会、終業式)			○			
8月	(夏季休業中)						
	(夏期休業中)						
2 学 期	9月	第2節 1. 共有結合と分子		○	○		8
		1. 共有結合と分子	・共有結合を電子配置と関連づけて理解する。		○		
		2. 分子とその利用	・分子からなる物質の性質を理解する。	○		○	
		3. 分子の極性と分子間力			○		
	10月	4. 分子結晶と共有結合の結晶			○	○	8
		第3節 金属結合 1. 金属結合と金属	・金属結合及び金属の性質を理解する。	○		○	
		金属の利用、化学結合による結晶の性質の違い		○			
		中間考査	・結合様式の異なる物質の性質の違いを実験により比較し、物質の性質と化学結合の関係について理解する。	○	○	○	
	11月	答案返却、解説、粒子の結合と結晶				○	8
		(セーフティ教室・農高祭準備)				○	
		(農高祭)	・結合様式の異なる物質の性質の違いを実験により比較し、物質の性質と化学結合の関係について理解する。		○	○	
		第1節 物質量と化学反応式 1. 原子量・分子量・式量		○		○	
12月	1. 原子量・分子量・式量			○	○	6	
	2. 物質の量、mol、3. 化学変化と化学反応式			○			
	4. 化学反応の量的な関係		○		○		
	化学反応式の係数、化学反応式的应用	・物質量と粒子数、質量、気体の体積との関係について理解する。	○	○	○		
12月	期末考査(12/9-12)、答案返却	・化学反応式は化学反応に関与する物質とその量の関係を表すことを理解する。		○	○	4	
	答案返却、行事				○		
	HR指導、学校行事、終業式						
	(冬季休業中)						
3 学 期	1月	(冬季休業中)					8
		第2節 酸と塩基 1. 酸と塩基	・酸と塩基の性質及び中和反応に関与する物質の量的関係を理解する。	○		○	
		1. 酸と塩基		○			
		2. 酸・塩基の価数と強弱		○	○		
	2月	3. 中和反応と塩			○		8
		中和滴定・滴定曲線	・酸塩基の共助剤による塩の違い、適切な指示薬について理解する。	○		○	
		第3節 酸化還元反応 酸化と還元	・酸化・還元が同時に起こる反応であると理解し、金属の酸化により電子が移動すること、その応用について学ぶ。	○	○	○	
		酸化剤・還元剤、酸化数、金属のイオン化傾向		○		○	
	3月	金属のイオン化傾向と電池			○	○	4
		学年末考査		○	○	○	
		答案返却、卒業式予行・卒業式				○	
		HR指導、学年集会、行事	・必要に応じ追指導を行う。			○	
3月	(行事・特別指導)・修了式、						
	(春季休業中)						
履修上の注意		2学年普通科・食品化学科必修の必履修科目。			予定時数計		78
特記事項等		拡充状況に応じ適宜補習・か大東の指導を行う。					

78

教科	科目名・単位数			対象学年・組				
保健体育	保健	(	1	単位)	2年A組・B組			
教科担当者:	(A組:高崎) (B組:広島) (C組:)							
使用教科書:	最新高等保健体育			使用教材等:	最新高等保健体育ノート			
学習目標:	保健の見方・考え方を働かせて、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。							
観点別の評価基準								
【知識・技能】		【思考・判断・表現】		【主体的に学習に取り組む態度】				
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。		健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。		生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。				
学期	月	指導内容・単元		具体的な指導内容・評価方法		予定 時数		
1 学 期	4月	(春季休業中)		・授業の進め方について理解する		3		
		(始業式・入学式・教科書・健診・対面式)		・思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。				
		オリエンテーション						
		ライフステージと健康						
		思春期と健康						
	5月	オンライン学習デー(行事)、大型連休		(中間考査 5/14-19)		4		
		性意識と性行動の選択		・思春期の心身の変化に対応して、自分の行動への責任感や寛容を理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対応が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。				
		中間考査						
		性意識と性行動の選択						
		妊娠・出産と健康						
	6月	妊娠・出産と健康		・家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについて、理解したことを言ったり書いたりしている。		4		
		妊娠・出産と健康						
		避妊法と人工妊娠中絶		・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。				
		避妊法と人工妊娠中絶						
		結婚生活と健康						
	7月	期末考査		(期末考査 7/1-7)		3		
		答案返却						
		(セーフティ教室、学年集会、終業式)						
		(夏季休業中)						
		(夏期休業中)						
	8月							
2 学 期	9月	働くことと健康		・労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が変化してきたことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。		4		
		労働災害と健康						
		労働災害と健康						
		労働災害と健康						
		大気汚染と健康						
	10月	大気汚染と健康		(中間考査 10/14-17)		4		
		水質汚濁、土壌汚染と健康		・人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて、理解したことを言ったり書いたりしている。				
		環境と健康にかかわる対策						
		(セーフティ教室・農高祭準備)						
	11月	(農高祭)		(農高祭・振休・ボランティアの日 11/13-16)		4		
		ごみの処理と上下水道の整備		・人間の生活や産業活動などによって引き起こされる自然環境汚染について、事例を通して整理し、疾病等のリスクを軽減するために、環境汚染の防止や改善の方策に応用している。				
		ごみの処理と上下水道の整備						

履修上の注意	・授業への出席状況・授業態度、提出物・小テスト・定期考査を総合的に評価を行	予定時数計	39
特記事項等			

教科		科目名・単位数		対象学年・組				
保健体育		体育 (2 単位)		2年A組・B組				
教科担当: A組: 高崎・中村◎ (B組: 高崎・中村◎) (C組:)								
使用教科書: 最新高等保健体育				使用教材等:				
学習目標: 体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。								
観点別の評価基準								
【知識・技能】		【思考・判断・表現】		【主体的に学習に取り組む態度】				
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。		生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間と考えたことを他者に伝える力を養う。		運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に励む態度を養う。				
学期	月	指導内容・単元	具体的な指導内容・評価方法	知	思	態	予定 時数	
1 学 期	4月	(春季休業中)	・役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとする。 ・課題解決の過程を踏まえて、自己や仲間の新たな課題を発見している。				6	
		(始業式・入学式・教科書・健診・対面式)		○				
		オリエンテーション		○		○		
		オリエンテーション 体づくり運動			○			
	5月	オンライン学習デー(行事)、大型連休	・リレーでは、大きな利得距離を得るために、両走者がスピードにのり、十分に腕を伸ばした状態でバトンを渡すことができる。 ・陸上競技の学習に主体的に取り組もうとしている。	○			8	
		陸上競技		○				
		中間考査		○				
		陸上競技				○		
	6月	陸上競技	・リレーでは、大きな利得距離を得るために、両走者がスピードにのり、十分に腕を伸ばした状態でバトンを渡すことができる。		○		8	
		リレー		○				
		リレー		○				
		リレー		○				
	7月	リレー	(期末考査 7/1-7)	○			6	
		期末考査				○		
答案返却					○			
(セーフティ教室、学年集会、終業式)					○			
		(夏季休業中)						
		(夏期休業中)						
	8月							
2 学 期	9月	スポーツフェスティバル練習	・選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えることができる。	○			8	
		スポーツフェスティバル練習				○		
		スポーツフェスティバル練習				○		
		スポーツフェスティバル練習		○				
	10月	スポーツフェスティバル練習	(中間考査 10/14-17) ・選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えることができる。		○		8	
		スポーツフェスティバル練習			○			
		中間考査		○				
		スポーツフェスティバル練習				○		
	11月	(農高祭)	(農高祭・振休・ボランティアの日 11/1-11/6) ・リズムカルに腕を振り、力みのないフォームで軽快に走ることができる。				8	
		長距離走		○				
		長距離走				○		
		長距離走		○				
	12月	長距離走	(期末考査 12/8-12) ・リズムカルに腕を振り、力みのないフォームで軽快に走ることができる。			○	6	
		期末考査		○				
答案返却、行事		○						
HR指導、学校行事、終業式					○			
		(冬季休業中)						
3 学 期	1月	(冬季休業中)	・リズムカルに腕を振り、力みのないフォームで軽快に走ることができる。				8	
		長距離走		○				
		長距離走		○				
		長距離走				○		
	2月	ベースボール	(自宅学習・入選・採点2/20-25) ・守備スペースが空いた方向をねらってボールを打ち返すことができる。 ・チームでの学習で、状況に応じてチームや自己の役割を提案している。	○			8	
		ベースボール		○				
		ベースボール		○				
		ベースボール			○			
	3月	学年末考査	(学年末考査 3/2-6)			○	4	
		答案返却、卒業式予行・卒業式				○		
		HR指導、学年集会、行事				○		
		(行事・特別指導)・修了式、				○		
			(春季休業中)					
	履修上の注意							予定時数計
特記事項等								

予定時数計 78

78

令和7年度年間指導計画 【様式1】

教科		科目名・単位数		対象学年・組				
英語	英語コミュニケーションⅠ	(2 単位)	2 学年 A・B 組					
教科担当者:		(A組:宮本) (B組:宮本) (C組:)						
使用教科書:		VISTA English Communication Ⅰ		使用教材等:	作成したプリント			
学習目標: 言語能力の本質としての思考力・判断力・表現力の養成を土台として、中学校までに習得した能力を更に伸長させながら、英語の基礎的な知識や技能の習得、コミュニケーション英語の能力を図る。								
観点別の評価基準								
【知識・技能】		【思考・判断・表現】		【主体的に学習に取り組む態度】				
英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、これらの知識や技能による実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけるようにする。		目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したりすることができる力を養う。		授業中の参加する姿勢や態度、発言や発問に対する回答、ノート・課題、プリント等への取り組みと提出状況を総合的に評価する。				
学期	月	指導内容・単元	具体的な指導内容・評価方法	知	思	態	予定 時数	
1 学 期	4 月	(春季休業中)	・世界遺産「マチュ・ピチュ」の魅力と不思議を知る。 ・動詞の過去分詞形に慣れさせる。現在、過去、現在完了を使い分けられるようにする。				6	
		(始業式・入学式・教科書・健診・対面式)						
		Lesson 6 Machu Picchu		○	○	○		
		Lesson 6 Machu Picchu		○	○	○		
	5 月	オンライン学習デー(行事)、大型連休	(中間考査 5/14-19)				8	
		A L T①	・AI (人工知能) にできることとできないことを、現在の技術から学ぶ。			○		
		中間考査		○	○	○		
		Lesson 7 Artificial Intelligence		○	○	○		
	6 月	Lesson 7 Artificial Intelligence	・動詞の過去分詞形に慣れさせる。 ・能動態と受け身の違いに留意させる。	○	○	○	8	
		Lesson 7 Artificial Intelligence		○	○	○		
		Lesson 7 Artificial Intelligence		○	○	○		
		Lesson 8 Artificial Intelligence		○	○	○		
	7 月	A L T②				○	6	
		期末考査						
		答案返却						
		(セーフティ教室、学年集会、終業式)	(期末考査 7/1-7)					
2 学 期	9 月	(夏季休業中)	・「サンタクロースは本当にいるのか」という子どもからの質問について考える。				8	
		(夏季休業中)						
		(夏季休業中)						
		(夏季休業中)						
	1 0 月	Lesson 8 Is There a Santa Claus?	・関係代名詞の主格・目的格の使い分けに注意させる。 (中間考査 10/14-17)	○	○	○	8	
		Lesson 8 Is There a Santa Claus?		○	○	○		
		Lesson 8 Is There a Santa Claus?		○	○	○		
		Lesson 8 Is There a Santa Claus?		○	○	○		
	1 1 月	A L T③				○	8	
		Lesson 8 Is There a Santa Claus?	・農高祭・振休・ボランティアの日 11/1-11/6) ・ピカソの絵画『ゲルニカ』と『キッズゲルニカ』プロジェクトについて知る。	○	○	○		
		Lesson 8 Is There a Santa Claus?		○	○	○		
		中間考査				○		
	1 2 月	(セーフティ教室・農高祭準備)						6
		(農高祭)						
		Lesson 9 Kids' Guernica		○	○	○		
		Lesson 9 Kids' Guernica		○	○	○		
3 学 期	1 月	Lesson 9 Kids' Guernica	・エシカルファッションとエシカルな考え方について学ぶ。 ・比較の表現を用いて、さまざまなものを比べられるようにする。	○	○	○	8	
		A L T⑤						○
		期末考査						
		答案返却、行事		(期末考査 12/8-12)				
	2 月	H R 指導、学校行事、終業式					8	
		(冬季休業中)						
		(冬季休業中)						
		(冬季休業中)						
	3 月	Lesson 10 Ethical Fashon	・仮定法過去を使って、自分の考えなどを述べるができるようにする。 (自宅学習・入選・採点2/20-25)	○	○	○	4	
		Lesson 10 Ethical Fashon		○	○	○		
		Lesson 10 Ethical Fashon		○	○	○		
		A L T⑥				○		
	3 月	Lesson 10 Ethical Fashon	(学年末考査 3/2-6)	○	○	○	4	
		The Story of Oshin, a Japanese Cinderella		○	○	○		
		The Story of Oshin, a Japanese Cinderella		○	○	○		
		The Story of Oshin, a Japanese Cinderella		○	○	○		
3 月	(※2/21-2/26自宅学習・入選・採点)					4		
	学年末考査							
	答案返却、卒業式予行・卒業式							
	H R 指導、学年集会、行事							
3 月	(行事・特別指導)、修了式、					4		
	(春季休業中)							
	(春季休業中)							
	(春季休業中)							
履修上の注意				予定時数計		78		
特記事項等								

令和7年度年間指導計画 【様式1】

教科		科目名・単位数		対象学年・組						
家庭	家庭基礎	(2 単位)	2 A, 2 B							
教科担当者:		(A組: 蛭田) (B組: 蛭田) (C組:)								
使用教科書:		7 美教・家基 7 0 7 図説家庭基礎		使用教材等: 教科書・プリント・視聴覚教材						
学習目標:		生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成する。								
観点別の評価基準										
【知識・技能】		【思考・判断・表現】		【主体的に学習に取り組む態度】						
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。		家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。		様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。						
学期	月	指導内容・単元		具体的な指導内容・評価方法		知	思	態	予定 時数	
1 学 期	4月	(春季休業中)							6	
		(始業式・入学式・教科書・健診・対面式)		生涯発達の視点からライフステージの特徴と課題について理解する。家族や家庭生活のあり方について考える。また、家族の法律にも触れる。		○	○	○		
		生涯発達とライフステージ・青年期の課題				○	○	○		
		家庭の機能、家族の法律								
	5月	オンライン学習デー(行事)、大型連休		住居の機能、住空間の計画などに関する基礎的な知識・技術を身に付ける。また、安全と環境に配慮した住生活について考える。		○	○	○	8	
		住まいの機能、平面計画からみた住空間				○	○	○		
		中間考査				○	○	○		
		住まいの衛生と安全				○	○	○		
	6月	被服の機能、被服材料の特徴				○	○	○	8	
		被服の表示、被服の手入れ・保管		被服管理に必要な被服材料、表示、手入れ、保管について理解する。基礎的な縫製技術を身に付け、衣服の簡単な修繕ができるようにする。		○	○	○		
		生徒総会				○	○	○		
		基礎縫い練習				○	○	○		
	7月	基礎縫い練習				○	○	○	6	
		期末考査		(期末考査 7/1-7)						
		答案返却								
		(セーフティ教室、学年集会、終業式)								
2 学 期	9月	(夏季休業中)							8	
		(夏期休業中)								
		8月								
		エプロン製作		ミシンの安全な使い方や縫い方について理解する。調理実習用の簡単なエプロンを作り、手作りの良さを見直し、自らの生活を豊かにする態度を養う。		○	○	○		
	10月	エプロン製作				○	○	○	8	
		エプロン製作				○	○	○		
		エプロン製作				○	○	○		
		食生活の現状と問題点				○	○	○		
	11月	五大栄養素と水		健康な食生活を営むために、栄養素の働きや多く含む食品、欠乏症と過剰症などについて学習する。		○	○	○	8	
		中間考査				○	○	○		
		スポーツフェスティバル				○	○	○		
		(セーフティ教室・農高祭準備)				○	○	○		
	12月	(農高祭)		食事摂取基準や食品群別摂取量のめやすについて学び、何をどれだけ食べることが理解する。また、食中毒の予防法、食品添加物の安全性についても考える。		○	○	○	6	
		栄養のとりの方めやす				○	○	○		
		食品の衛生と安全				○	○	○		
		調理実習1				○	○	○		
3 学 期	1月	調理実習2				○	○	○	8	
		家計の経済計画		家計と国民経済・国際経済の関係を理解する。また、ライフステージと生活費の関わりを理解し、家庭にあった家計管理の方法が工夫できるようにする。		○	○	○		
		期末考査				○	○	○		
		答案返却、行事				○	○	○		
	2月	H R 指導、学校行事、終業式		(冬季休業中)					8	
		(冬季休業中)								
		問題の発生しやすい販売方法やクレジットカード、消費者金融の利用上の注意点について学習する。				○	○	○		
		高齢者の心身の特徴				○	○	○		
	3月	高齢者の生活と福祉		高齢期の特徴や課題、生活を支えるしくみなどについて理解する。乳幼児の発達、生活習慣の形成、食生活、健康管理、福祉について学習する。		○	○	○	4	
		乳幼児期の心身の発達				○	○	○		
		自宅学習				○	○	○		
		乳幼児の生活と保育・福祉				○	○	○		
	4 学 期	3月	学年末考査		(学年末考査 3/2-6)					4
			答案返却、卒業式予行・卒業式							
			H R 指導、学年集会、行事							
			(行事・特別指導)、修了式、							
4月		(春季休業中)							8	
		遅刻、欠席、早退をしないように注意する。								
		授業中に取り組んだプリントなどを必ず提出する。また、提出物の期限を守る。								
		実習室は指示通りに、きちんと使用する。								
特記事項等						予定時数計		78		

令和7年度年間指導計画 【様式1】

教科		科目名・単位数		対象学年・組				
農業		食品製造 (1 単位)		2年A組				
教科担当者:		(A組: 峰岸照明)						
使用教科書:		食品製造		使用教材等:		ICT機器		
学習目標: 農業の見方・考え方を働かせ、実践的、体験的な学習活動を行うことなどを通じて、食品製造に必要な資源・効力を育成する。								
観点別の評価基準								
【知識・技能】		【思考・判断・表現】		【主体的に学習に取り組む態度】				
食品製造について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に養ける。		食品製造に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。		食品製造について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				
学期	月	指導内容・単元	具体的な指導内容・評価方法	知	思	態	予定 時数	
1 学 期	4月	(春季休業中)	ノートをつくる方法について画像を活用して説明する。				3	
		(始業式・入学式・教科書・健診・対面式)						
		ガイダンス、評価の仕方の説明		○	○	○		
		身近な食品に関する疑問		○	○	○		
	5月	オンライン学習デー事前指導	(中間考査 5/14-19) プリント学習の回答をノートにまとめる。毎時間授業に関連する内容で生徒に考えさせる場面を設ける。	○	○	○	4	
		オンライン学習デー(行事)、大型連休						
		食品の変質と貯蔵		○	○	○		
		中間考査						
	6月	物理的・科学的要因による変質	プリント学習の回答をノートにまとめる。毎時間授業に関連する内容で生徒に考えさせる場面を設ける。ノートを提出させ、内容を評価	○	○	○	4	
		食品の貯蔵法		○	○	○		
		低温による貯蔵		○	○	○		
		殺菌による貯蔵		○	○	○		
	7月	食塩・砂糖、酢による貯蔵	(期末考査 7/1-7)	○	○	○	3	
		空気組成の調節による貯蔵		○	○	○		
		期末考査		○	○	○		
		答案返却		○	○	○		
		(セーフティ教室、学年集会、終業式)						
		(夏季休業中)						
		(夏季休業中)						
		(夏季休業中)						
	8月							
2 学 期	9月	食品添加物による貯蔵	プリント学習の回答をノートにまとめる。毎時間授業に関連する内容で生徒に考えさせる場面を設ける。	○	○	○	4	
		食品加工と食品衛生		○	○	○		
		食品衛生行政と法律		○	○	○		
		食中毒とは		○	○	○		
	10月	(都民の日)	(中間考査 10/14-17) プリント学習の回答をノートにまとめる。毎時間授業に関連する内容で生徒に考えさせる場面を設ける。				4	
		食中毒の分類		○	○	○		
		中間考査						
		有害物質による食品汚染		○	○	○		
	11月	(セーフティ教室・農高祭準備)	(農高祭・振休・ボランティアの日 11/1-11/6)プリント学習の回答をノートにまとめる。毎時間授業に関連する内容で生徒に考えさせる場面を設ける。ノートを提出させ、内容を評価				4	
		(農高祭)		○	○	○		
		食品による感染症、寄生虫症・アレルギー		○	○	○		
		食品の安全性の確保		○	○	○		
	12月	食品添加物	(期末考査 12/8-12)	○	○	○	3	
		食品添加物の安全性評価		○	○	○		
		2学期のまとめ		○	○	○		
		期末考査		○	○	○		
		答案返却、行事		○	○	○		
		HR指導、学校行事、終業式						
		(冬季休業中)						
		(冬季休業中)						
3 学 期	1月	(冬季休業中)	プリント学習の回答をノートにまとめる。毎時間授業に関連する内容で生徒に考えさせる場面を設ける。	○	○	○	4	
		食品の包装と表示		○	○	○		
		食品包装の目的と種類		○	○	○		
		食品の包装材料		○	○	○		
	2月	食品の包装形態と包装技術	(自宅学習・入選・採点2/20-25)プリント学習の回答をノートにまとめる。毎時間授業に関連する内容で生徒に考えさせる場面を設ける。ノートを提出させ、内容を評価	○	○	○	4	
		(建国記念日)						
		容器包装リサイクル法		○	○	○		
		(自宅学習・入選・採点)						
	3月	学年末考査	(学年末考査 3/2-6)	○	○	○	2	
		答案返却、卒業式予行・卒業式		○	○	○		
		HR指導、学年集会、行事						
		(行事・特別指導)、修了式、 (春季休業中)						
履修上の注意							予定時数計	39
特記事項等								

教科		科目名・単位数		対象学年・組			
農業		総合実習 (4 単位)		2年A組			
教科担当者:		(A組: 佐藤・林・大福・牧戸)					
使用教科書:		実教出版: 食品製造		使用教材等: 実験・実習資料			
学習目標:		農業の見方・考え方を働かせ、実践的、体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業各分野の改善を図る実践的な資源・能力を育成する。					
観点別の評価基準							
【知識・技能】		【思考・判断・表現】		【主体的に学習に取り組む態度】			
農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。		農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。		農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付きよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			
学期	月	指導内容・単元	具体的な指導内容・評価方法	知	思	態	予定 時数
1 学 期	4月	(春季休業中)	凝固剤の性質や、小麦粉の特性等を理解する。ゼリー、クッキー、桜餅の製造に関わる基本的な知識技術を習得する。				12
		(始業式・入学式・教科書・健診・対面式)					
		総合実習オリエンテーション		○		○	
		ゼリーの製造実習		○	○	○	
	5月	クッキー・桜餅の製造実習	○	○	○	16	
		オンライン学習デー(行事)、大型連休					
		クッキー・桜餅の製造実習	○	○	○		
		中間考査	○	○	○		
	6月	イチゴジャムの製造実習	ジャムのゲル化の原理、膨張剤の特性等を理解する。イチゴジャム、小麦饅頭の製造に関わる基本的な知識技術を習得する。	○	○	○	16
		丸パン・小麦饅頭の製造実習		○	○	○	
		丸パン・小麦饅頭の製造実習		○	○	○	
		あんぱんの製造実習		○	○	○	
	7月	ロールパンの製造実習	パンのアルコール発酵の原理を理解する。丸パン、あんパン、ロールパンの製造に関わる基本的な知識技術を習得する。	○	○	○	12
		園芸加工の特性について		○	○	○	
		穀類加工の特性について		○	○	○	
		期末考査		○	○	○	
8月	答案返却	(期末考査 7/1-7)	○	○	○	16	
	(セーフティ教室、学年集会、終業式)						
	(夏季休業中)						
	(夏期休業中)						
2 学 期	9月	マドレーヌ・こんにゃくの製造実習	バターのクリーム性、こんにゃくイモの特性等を理解する。マドレーヌ、こんにゃくの製造に関わる基本的な知識技術を習得する。	○	○	○	16
		マドレーヌ・こんにゃくの製造実習		○	○	○	
		ブルーベリージャムの大量製造実習		○	○	○	
		校外学習		○	○	○	
	10月	リンゴジャムの大量製造実習	ジャムのゲル化の原理や果実ごとの特性を理解する。ジャムの大量製造に関する知識技術を習得する。	○	○	○	16
		製品化実習		○	○	○	
		製品化実習		○	○	○	
		中間考査		○	○	○	
	11月	農高祭に向けて展示学習	(セーフティ教室・農高祭準備)	○	○	○	16
		(農高祭)					
		マドレーヌの大量製造実習		○	○	○	
		セミハードパン・ケチャップの製造実習		○	○	○	
	12月	セミハードパン・ケチャップの製造実習	トマト加工品の特性、ハード系のパンの特性について理解する。ケチャップ、セミハードパンの製造に関する知識技術を習得する。	○	○	○	12
		園芸加工の特性について		○	○	○	
		穀類加工の特性について		○	○	○	
		期末考査		○	○	○	
3月	答案返却、行事	(期末考査 12/8-12)	○	○	○	16	
	HR指導、学校行事、終業式		○	○	○		
	(冬季休業中)						
3 学 期	1月	(冬季休業中)	卵白の起泡性、果実のシラップ漬けの特性、シュウクリーム生地の際らむ原理等について理解する。シフォンケーキ、シラップ漬け、シュウクリームの製造に関する知識技術を習得する。	○	○	○	16
		シフォンケーキ・みかんのシラップ漬けの製造実習		○	○	○	
		シフォンケーキ・みかんのシラップ漬けの製造実習		○	○	○	
		シュウクリームの製造実習・ジャムの官能検査		○	○	○	
	2月	シュウクリームの製造実習・ジャムの官能検査	バターの可塑性について理解する。基礎的な実験を通して、器具の扱い等を理解する。シュウクリームの製造に関する知識技術を習得する。	○	○	○	16
		折り込みパイの製造実習・実験		○	○	○	
		折り込みパイの製造実習・実験		○	○	○	
		園芸加工の特性について		○	○	○	
	3月	穀類加工の特性について	(学年末考査 3/2-6)				8
				○	○	○	
		学年末考査		○	○	○	
		答案返却、卒業式予行・卒業式		○	○	○	
	4月	HR指導、学年集会、行事	(行事・特別指導)・修了式、				16
		(春季休業中)					
履修上の注意				予定時数計		156	
特記事項等							